

事業番号	交付対象事業名	DMOを核とした健康の町かがみの好循環創出事業				担当部課名	産業観光課
1	メニュー例の分野	5	観光振興・対内直接投資			事業始期	平成29年4月
	政策5原則との関係					事業終期	令和2年3月

1. 事務事業の概要

事業の概要: 目的	事業の概要: 交付金を充当する経費内容
ひと・まち・自然という「健康のまち鏡野らしさ」に磨きをかけながら、「訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたい魅力あふれるまち」として魅力を発信し、ひとの流れを呼び込み、交流人口拡大によるまちの賑わいを創出する。	戦略的な情報発信やPR・プロモーション、ファンクラブの運用により、「健康の町かがみの」のファンを創出する。2年目となる会員制ファンクラブ「かがみの里山健康クラブ」の更なる会員拡充を進め、着地型観光素材の企画・作成や広報宣伝を強化、ツアーやプラン等の充実を図る。移住希望者には、お試し住宅を活用した個別ツアーを開催するほか、地域と連携して移住者の受け入れ体制を構築していく。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		③対象数の推移		単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度
ア	鏡野町の観光入込客	→	ア	人	見込実績	999,165	928,807	1,123,618	
イ	鏡野町の転入者数	→	イ	人	見込実績	306	386	498	
ウ	鏡野町のHPへのアクセス数	→	ウ	件	見込実績	123,573	93,602	132,392	

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		④成果指標(意図の達成度)		単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度
ア	多くの人に来町してもらい、交流人口を増やす	→	ア	人	目標 実績 達成率	993,618 999,165 100.6%	1,043,618 928,807 89.0%	1,123,618 925,238 82.3%	
イ	移住・定住による転入人口を増やす	→	イ	人	目標 実績 達成率	418 306 73.2%	448 386 86.2%	498 397 79.7%	
ウ	魅力を掲載し、多くの方に知ってもらう	→	ウ	件	目標 実績 達成率	82,392 123,573 150.0%	102,392 93,602 91.4%	132,392 81,167 61.3%	

3. 事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	1	一般会計	款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	観光費	
内訳	国庫支出金		県支出金		町債		その他特財		一般財源			合計	
予算(千円)	13,024								13,024			26,048	
決算(千円)	12,279								12,608			24,887	
主な支出事業内容(予算)	情報発信・PR・プロモーション				6,700	千円	主な支出事業内容(決算)	情報発信・PR・プロモーション				6,001	千円
	着地型観光商品開発				5,000	千円		着地型観光商品開発				5,000	千円
	ファンクラブ運用				2,700	千円		ファンクラブ運用				2,700	千円
	移住促進				11,648	千円		移住促進				11,186	千円

4. 検証結果

①成果実績の目標達成度とその要因	②地方創生に対する事業効果
<input type="checkbox"/> 目標値以上 <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標以下 健康をキーワードとした独自性のある着地型プランを企画・販売すると共に、一体的なPR・プロモーションを行う実施体の設置により好循環を創ることができた。だが、平成30年7月に発生した豪雨災害や新型コロナウイルス感染症による観光へのダメージは大きく、観光入込客数は目標を下回った。移住定住における空き家活用は、売家は多くあるが借家が少ないこと等、転入人口は目標値を下回るが、お試し住宅の設置や空き家登録制度への問合せ件数は増加傾向にある。	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった
③今後の課題解決のための改革改善の方法	
記録的な雪不足や紅葉見頃時期の大幅な遅れなど気象の不安定化や、新型コロナウイルス感染症の蔓延は観光にとっては非常に大きなリスクとなっており、新たなビジネスモデルの構築や人材の確保はもちろん、推進体制の再構築も含めた改善が必要。	
④評価委員会の意見	⑤戦略KPIに対する事業効果
事業の目的に沿って取り組み、一定の成果はあった。ただ、事業名にもなっているDMOの組成には至っていないことから、⑤戦略KPIに対する事業効果においては、「有効とは言えない」と言わざるを得ない。取り組んだらすぐに結果が数値として表れるものではないと承知はしている。既に立ち上がっているDMOとの比較を行い、改善が必要である。DMO設立に向けては、牽引していく主体の育成が必要だと考えられる。	<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない